



鶴岡信用金庫

第185回  
中小企業の

# 景気動向

2020年 7月~9月



## 2020年7月~9月期の景気の現状と2020年10月~12月期の見通し

### 特別調査「新型コロナウイルスの感染拡大による中小企業への影響について」

#### 目次

- P01 概況
- P03 製造業
- P05 建設業
- P07 卸売業
- P09 小売業
- P11 サービス業
- P13 不動産業
- P15 参考資料
- P17 特別調査

#### 凡例

1. 調査の目的 経済情勢の変化が激しい経営環境下における企業活動の実態をとらえ、今後の企業経営の資料として活用する。
2. 調査時点 2020年9月1日~7日
3. 調査内容 (イ) 業況判断 (今期の業況・来期の予想) (ロ) 売上・収益・価格の動き (ハ) 経営上の問題点 (ニ) 当面の重点経営施策
4. 調査先・業種と企業数 (庄内地区の中小企業のうち、当金庫取引先を主とした企業169社から、当金庫営業店の職員が共通の調査表に基づき聞き取りによる調査を実施したものです)  
・製造業33社・小売業48社・建設業31社・サービス業27社・卸売業20社・不動産業10社
5. 分析方法 各質問項目について「良い(増加)・悪い(減少)」の構成比の差=判断指数・DI値を中心にして分析を行った。

業況判断  
天気図

【悪い】←



~▲30



~▲20



~▲10



~0~



+10~



+20~



+30~

→【良い】

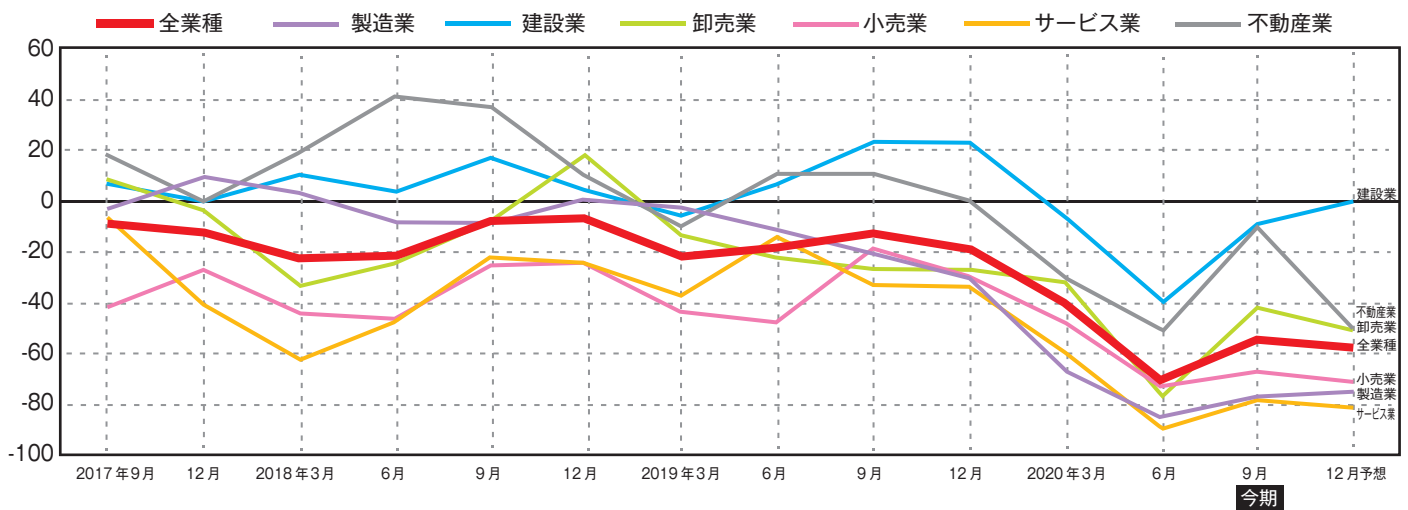
概況判断

景況感の悪化幅が弱まった

庄内地域全業種の2020年7月～9月期の業況は、「良い」と回答した企業が7.7ポイント、「悪い」と回答した企業は61.5ポイントで、業況判断指数・DI値（「良い」-「悪い」）は▲53.8となり、前期（2020年4月～6月期 ▲70.4）に比べ16.6ポイント改善しました。

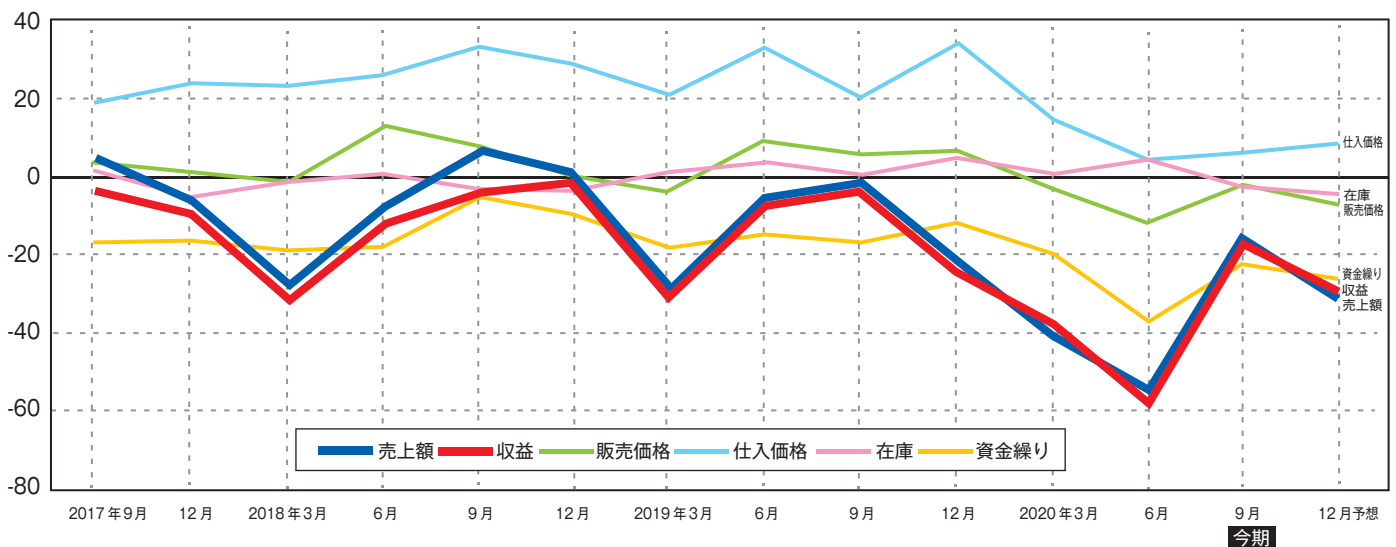
業種別の業況判断指数・DI値（前期比）は、製造業▲75.7、建設業▲9.6、卸売業▲45.0、小売業▲66.6、サービス業▲77.8、不動産業▲10.0となり、すべての業種において業況の悪化幅が弱まりました。

業況判断 [DI] 全業種



売上・収益・価格等の状況

業種に多少のよらつきはあるものの、全体的に「売上額」、「収益」、「受注残」DIともに前期に比べ大きく悪化しました。業種別「売上額」では、製造業がDI ▲51.5、建設業同 12.9、卸売業同 10.0、小売業同▲20.8、サービス業同▲11.1、不動産業同▲10.0と全ての業種で前期に比べ改善しました。特に、建設業・卸売業は水面下を脱することが出来ました。業種別「収益」では、製造業がDI ▲45.4、建設業同 0.0、卸売業同 0.0、小売業同▲18.7、サービス業同▲18.5、不動産業同 10.0と、全ての業種で前期に比べ改善しました。特に、建設業・卸売業・不動産業は水面下を脱することが出来ました。



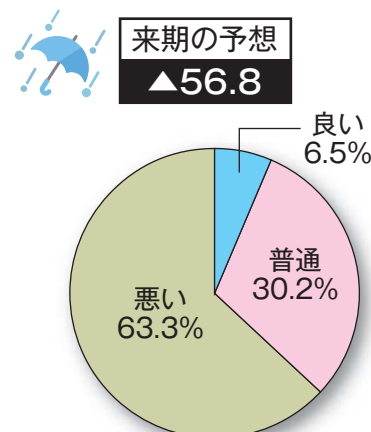
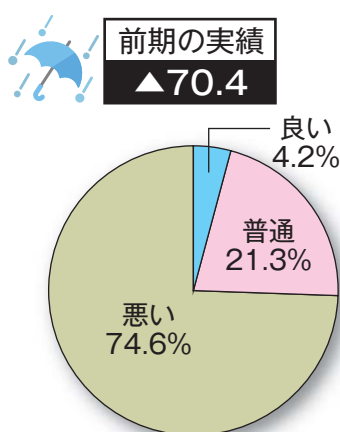
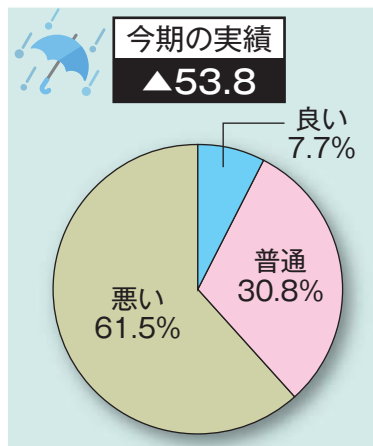


庄内地域全業種の2020年10月～12月期の業況見通しは、「良い」と回答した企業の割合が6.5ポイント、「悪い」と回答した企業の割合は63.3ポイントで、業況判断指数・DI値（「良い」-「悪い」企業割合）は▲56.8となり、今期（2020年7～9月期▲53.8）に比べ3.0ポイント悪化し、景況感は回復しないと見通しています。

業種別の予想業況判断指数・DI値（今期比）は、製造業▲0.1、建設業+9.6、卸売業▲5.0、小売業▲4.2、サービス業▲3.7、不動産業▲40.0となり、建設業は水面下を脱するも、製造業・卸売業・小売業・サービス業の業況は悪化幅が拡大すると見通しています。また、不動産業の業況は今期に比べ一段と悪化すると見通しています。

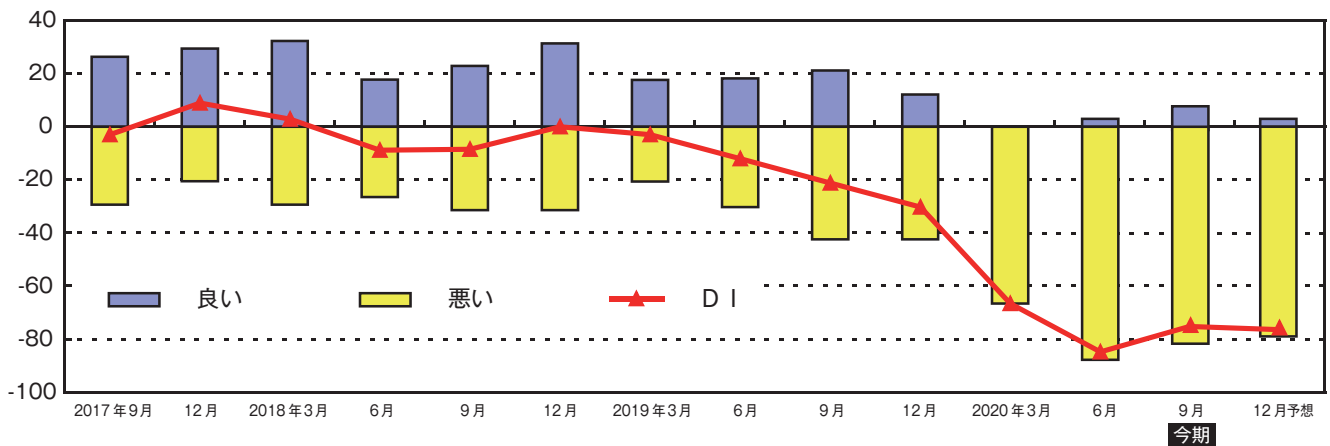
業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断 総合)



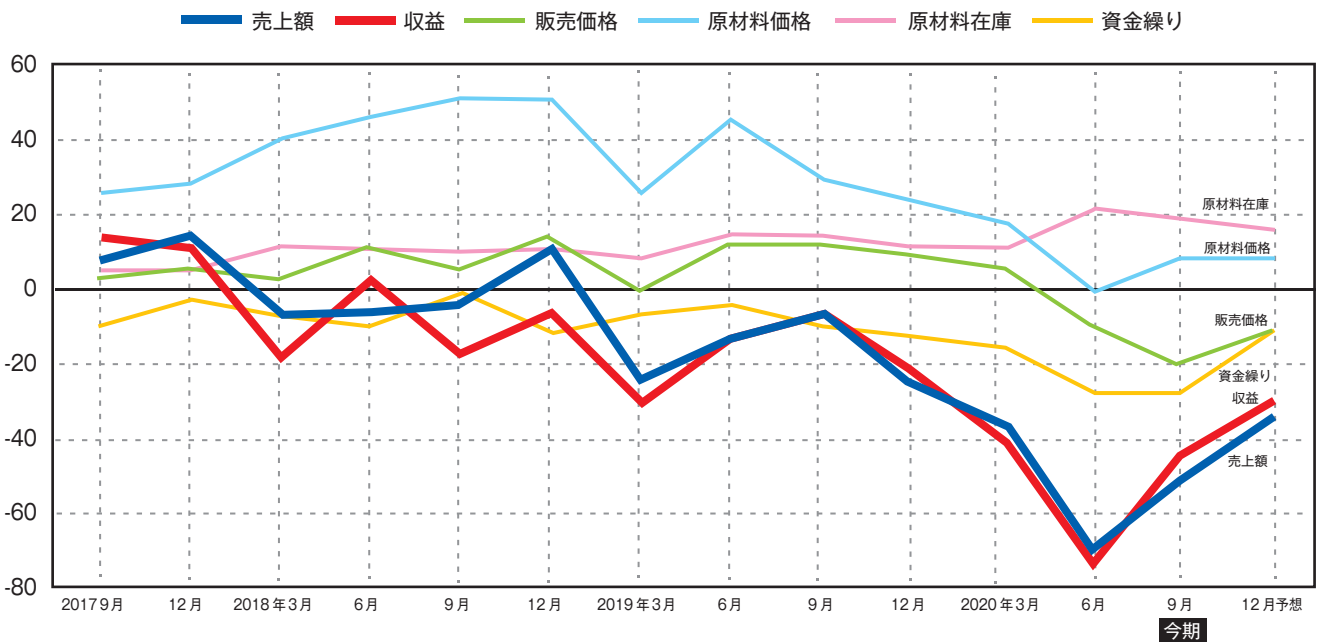
		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲53.8	16.6	▲70.4	▲65.6	11.8	▲56.8	▲13.4
内訳	良い	7.7		4.2	4.2	3.5	6.5	19.7
	普通	30.8		21.3	26.0	4.8	30.2	47.1
	悪い	61.5		74.6	69.8	▲8.3	63.3	33.1
売上額		▲14.8	40.2	▲55.0	▲27.8	13.0	▲32.0	▲2.3
収益		▲16.6	40.7	▲57.3	▲30.8	14.2	▲30.2	▲2.9
販売(請負)価格 料金		▲2.4	9.4	▲11.8	▲7.1	4.7	▲7.1	5.8
仕入・原材料価格		5.4	0.7	4.7	8.9	▲3.5	7.1	19.7
在庫		▲2.9	▲7.1	4.2	1.4	▲4.3	▲4.3	0.7
内訳	過剰	8.4		16.9	12.0		6.3	9.7
	適正	80.3		70.4	77.5		83.1	81.4
	不足	11.3		12.7	10.6		10.6	9.0
資金繰り		▲23.1	13.6	▲36.7	▲32.0	8.9	▲27.2	▲16.3
残業時間		▲27.3	13.5	▲40.8	▲24.8	▲2.5	▲18.3	▲9.3
人手		▲0.7	2.8	▲3.5	▲11.3	10.6	▲16.0	▲28.5
設備投資		▲17.6	▲5.1	▲12.5	▲15.1	▲2.5	▲20.8	▲18.6
内訳	過剰	5.0		5.7	4.4		3.1	2.5
	適正	72.3		76.1	76.1		73.0	76.4
	不足	22.6		18.2	19.5		23.9	21.1

概況判断 業況の悪化が続いている。



今期の業況判断は、「良い」と回答した企業が6.1ポイント、「悪い」と回答した企業は81.8ポイントで、業況D I (「良い」－「悪い」)は▲75.7となり、前期 (▲84.9) に比べ (9.2ポイント) マイナス幅が改善しました。来期 (2020年10～12月) の予想D Iは▲75.8で、今期に比べマイナス幅が僅か0.1ポイント拡大し、依然として厳しい業況が当分続くと思われています。

売上・収益・価格等の状況



前期 (2020年4～6月) に比べ、「売上額」、「収益」とともにマイナスながら改善しました。前期に比べ「販売価格」の下降幅が強まり、「原材料価格」は上昇に転じました。「原材料在庫」は過剰感がやや改善したものの依然として過剰な状況が続いています。また、業況の低迷に伴い「資金繰り」の窮屈感は改善しませんでした。

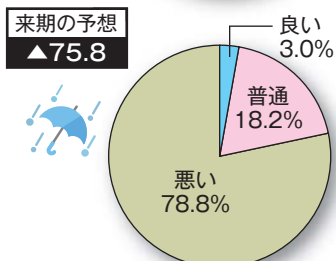
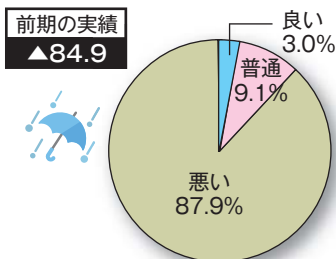
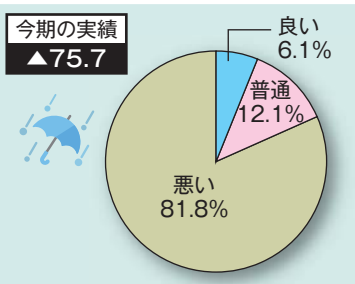
来期の見通し

来期 (2020年10月～12月) は、「売上額」、「収益」共にマイナスながら改善すると見通しています。「販売価格」の下降幅は弱まるものの、原材料価格の上昇は改善しないと見通しています。

「原材料在庫」の過剰感は引き続き和らぐと見通しています。厳しい状況が続く資金繰りについては、マイナスながら改善すると見通しています。

## 業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



	今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合	▲75.7	9.2	▲84.9	▲78.8	3.1	▲75.8	▲21.2
内訳	良い	6.1	3.0	3.0		3.0	21.2
	普通	12.1	9.1	15.2		18.2	36.4
	悪い	81.8	87.9	81.8		78.8	42.4
売上	▲51.5	18.2	▲69.7	▲39.3	▲12.2	▲33.4	▲6.0
受注残	▲48.5	18.1	▲66.6	▲42.4	▲6.1	▲24.4	▲3.1
収益	▲45.4	27.3	▲72.7	▲45.4	0.0	▲30.4	▲6.1
販売価格	▲21.3	▲12.2	▲9.1	▲6.0	▲15.3	▲9.1	12.1
原材料価格	6.1	6.1	0.0	0.0	6.1	6.1	30.3
原材料在庫	18.2	▲3.0	21.2	9.1	15.1	15.2	15.1
内訳	過剰	21.2	27.3	12.1		15.2	15.1
	適正	75.8	66.7	84.8		84.8	84.9
	不足	3.0	6.1	3.0		0.0	0.0
資金繰り	▲27.3	▲0.1	▲27.2	▲27.2	▲0.1	▲8.3	▲9.1
残業時間	▲42.5	21.1	▲63.6	▲45.4	2.9	▲33.4	▲30.3
人手	21.2	15.2	6.0	0.1	21.1	12.1	▲27.2
設備投資	▲21.3	▲9.2	▲12.1	▲9.0	▲12.3	▲21.2	▲27.3
内訳	過剰	12.1	9.1	12.2		9.1	3.0
	適正	54.5	69.7	66.7		60.6	66.7
	不足	33.4	21.2	21.2		30.3	30.3

## 経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	75.8	78.8
2	利幅の縮小	21.2	30.3
3	工場・機械の狭小・老朽化	24.2	24.2
4	同業者間の競争激化	15.2	21.2
5	人手不足	18.2	15.2

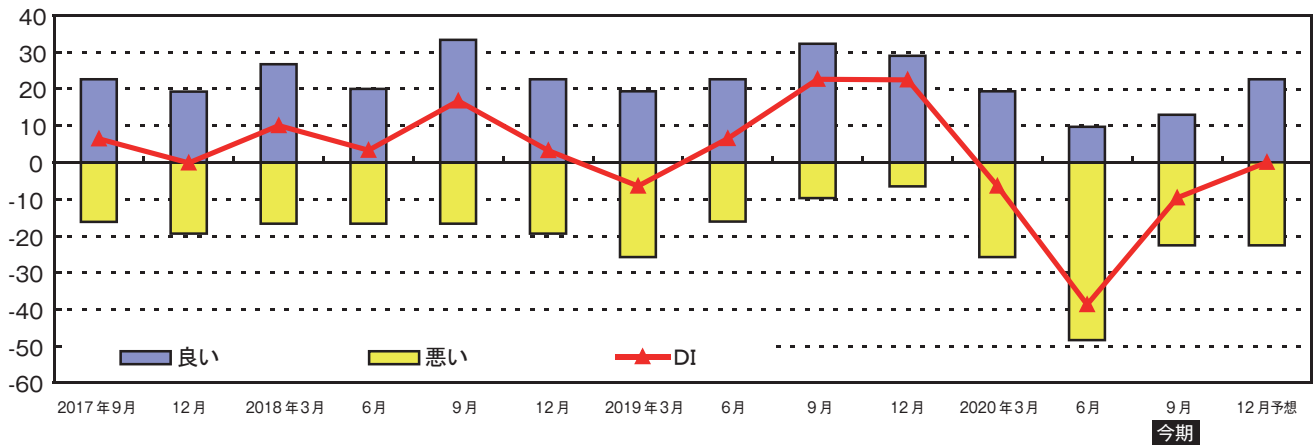
	項目	前期	今期
1	販路を広げる	54.5	66.7
2	経費を節減する	45.5	42.4
3	新製品・技術を開発する	21.2	21.2
3	人材を確保する	21.2	18.2
5	不採算部門を整理・縮小する	15.2	15.2

## 調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人工呼吸器に使用する部品の受注が大幅に増加した。他製品部門については、前年比を若干下回る受注量であるが、結果として対前年比を上回る見通しとなっている。(電気機械器具製造業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、落ち込んでいた受注は回復傾向にある。一時は機械稼働フル操業となったが、コロナウイルス感染拡大第2波の影響により、お盆以降の受注に減少の動きが出ている。全体的に受注状況の波が大きく、予断を許さない状況にある。(食料品製造業)
- 直接的に新型コロナウイルス感染拡大による影響はないが、国内経済全体の景気回復が遅れることにより、今後の事業全般に影響が及ぶことを懸念している。他製造業の中には、人員を整理している企業もあり、新規従業員の確保を働き掛けているが、苦戦している。(建設用金属製品製造業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、年初めから売上高の減少が続いている。以前の受注水準に回復するには、更に相応の期間が必要となると考えている。テレワークやリモートワークに代替できる業務は限定的ではあるが、可能な限り活用できる態勢を構築したいと考えている。(建設用金属製品製造業)

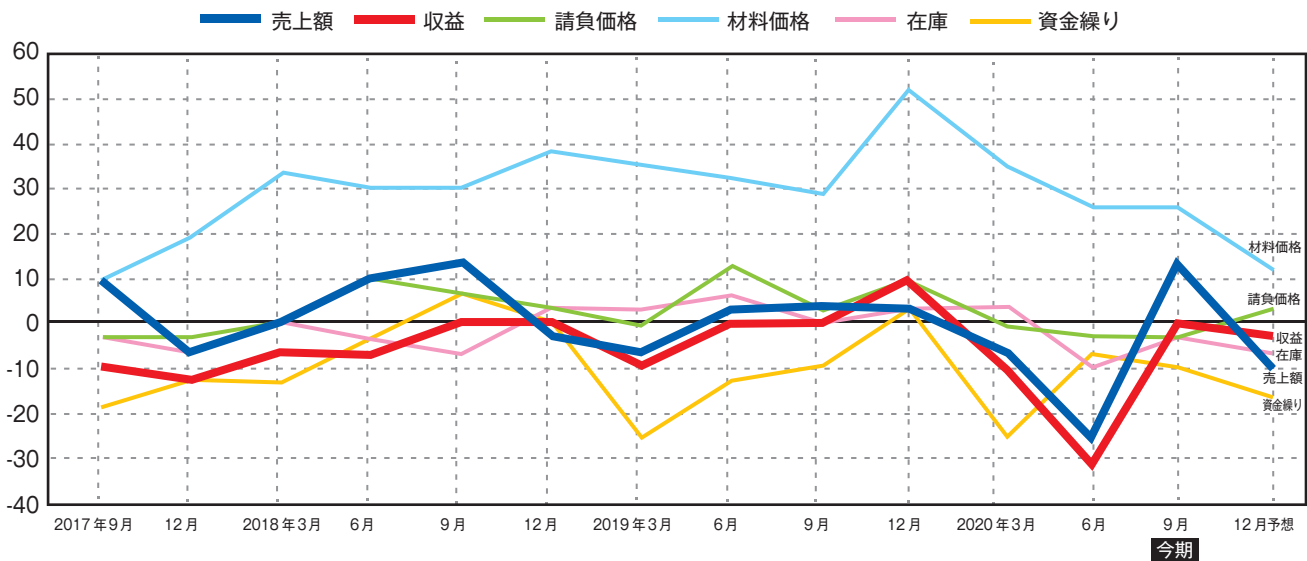
# ◆◆◆ 建設業 31社

## 概況判断 業況判断指数マイナスながら、大きく改善した。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業が13.0ポイント、「**悪い**」と回答した企業は22.6ポイントで、業況DI（「**良い**」－「**悪い**」）は▲9.6となり、前期（▲38.7）に比べ大きく（29.1ポイント）マイナス幅が改善しました。来期（2020年10～12月）の予想DIは0.0で、今期に比べ9.6ポイント改善し、業況はマイナスから脱すると見通しています。

## 売上・収益・価格等の状況



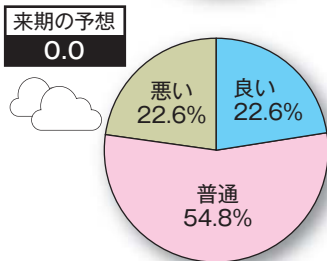
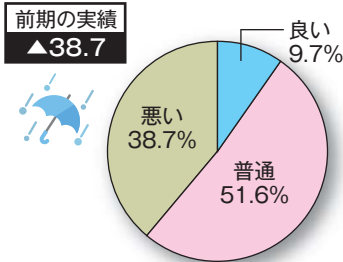
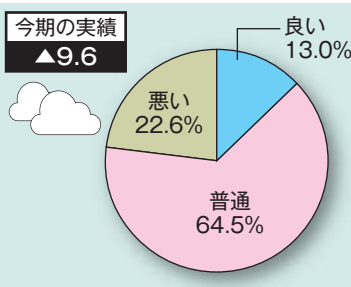
前期（2020年4～6月）に比べ、「**売上額**」、「**収益**」ともに大きく改善し、水面下を脱しました。「**請負価格**」の下降幅が僅か0.1ポイント拡大し、「**材料価格**」は前期と同率になりました。在庫については品薄感が緩和するも、長引く景況の低迷から資金繰りの窮屈感が拡大しました。

## 来期の見通し

来期（2020年10～12月）は、「**売上額**」予想DI、「**収益**」予想DIは共に増加から減少に転じると見通しています。請負価格は好転し水面下を脱し、材料価格の上昇も弱まると見通しています。「**在庫**」の品薄感は拡大し、「**資金繰り**」の窮屈感も拡大すると見通しています。

## 業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲9.6	29.1	▲38.7	▲29.0	19.4	0.0	22.6
内訳	良い	13.0		9.7	9.7		22.6	32.3
	普通	64.5		51.6	51.6		54.8	58.1
	悪い	22.6		38.7	38.7		22.6	9.7
売上額		12.9	38.7	▲25.8	▲6.6	19.5	▲9.7	3.3
受注残		6.5	32.3	▲25.8	0.0	6.5	▲19.3	12.9
施工高		22.7	48.6	▲25.9	6.3	16.4	▲6.4	16.2
収益		0.0	32.2	▲32.2	▲9.6	9.6	▲3.3	0.0
請負価格		▲3.3	▲0.1	▲3.2	6.5	▲9.8	3.2	3.2
材料価格		25.8	0.0	25.8	32.3	▲6.5	2.9	29.0
在庫		▲3.2	6.5	▲9.7	0.0	▲3.2	▲6.5	0.0
内訳	過剰	0.0		9.7	9.7		0.0	3.2
	適正	96.8		80.6	80.6		93.5	93.5
	不足	3.2		9.7	9.7		6.5	3.2
資金繰り		▲9.7	▲3.2	▲6.5	▲6.5	▲3.2	▲16.2	▲9.7
残業時間		▲9.6	29.2	▲38.8	▲3.3	▲6.3	19.3	▲9.6
人手		▲38.7	▲19.4	▲19.3	▲32.3	▲6.4	▲58.1	▲42.0
設備投資		▲9.7	▲6.5	▲3.2	▲6.5	▲3.2	▲9.7	▲6.4
内訳	過剰	0.0		3.2	3.2		0.0	0.0
	適正	90.3		87.1	87.1		90.3	93.5
	不足	▲9.7		9.7	9.7		9.7	6.4

## 経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	45.2	41.9
1	人手不足	29.0	41.9
3	同業者間の競争激化	25.8	25.8
4	利幅の縮小	32.3	19.4
5	下請の確保難	19.4	16.1

	項目	前期	今期
1	人材を確保する	51.6	51.6
2	情報力を強化する	25.8	48.4
3	販路を広げる	45.2	41.9
4	経費を節減する	35.5	38.7
5	技術力を高める	41.9	22.6

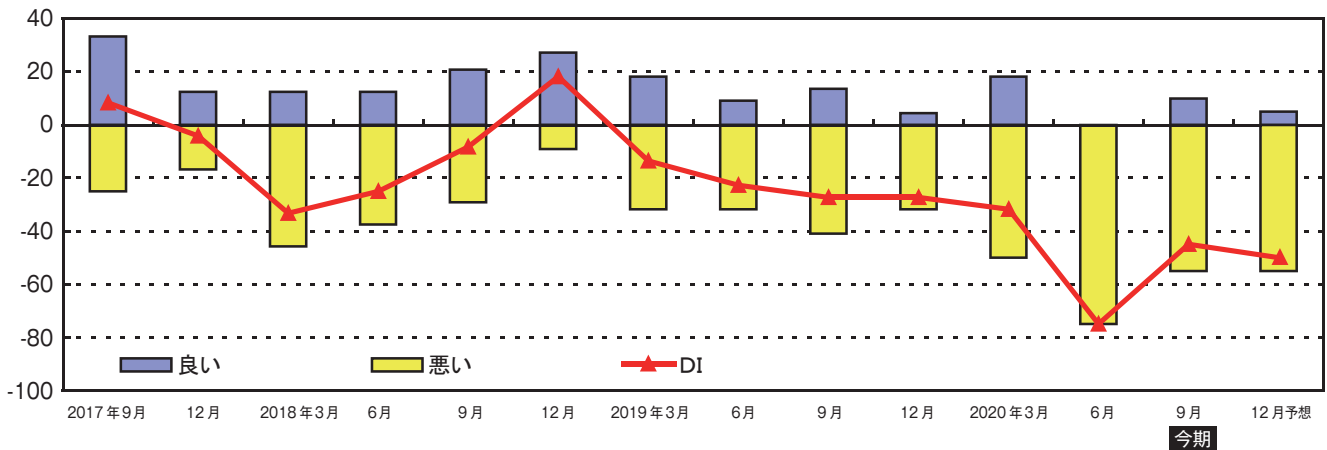
## 調査員のコメント

- 公共工事の受注が好調であったことから、7月～9月は受注額増加した。新型コロナウイルス感染拡大による影響はなく、昨年に比べ業況が良好していると実感しているが、地域に関する不安材料が多く、先行きの業況は厳しくなると見通している。（総合建設業）
- 地元建築業者と住宅メーカーを含めた同業者間の競争激しく、結果として利幅が小さくなっている。自社で中古住宅を買取り、リフォーム工事を経て販売することに力を入れており、利幅の底上げに貢献している。（総合建設業）
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響もなく、工事受注は順調に確保できている。しかし、材料価格の上昇が続いており、請負金額があがらない中で収益の確保に影響を及ぼしている。現状、自社の作業員が不足していることから外注に依存している工事が多く受注の増加が収益の増加に繋がっていないことが大きな課題となっている。（総合建設業）
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、工事の完了時期が遅れたことで売上代金の回収に遅延が発生している。また、職人の退職により受注工事を外注業者に依存することが多く、受注の増加が利幅の縮小につながっている状況にある。引き続き、人材の確保を実施するとともに、仕事内容・受注単価等を十分に検討することで無駄の少ない業務を行っていく。（設備工事業）



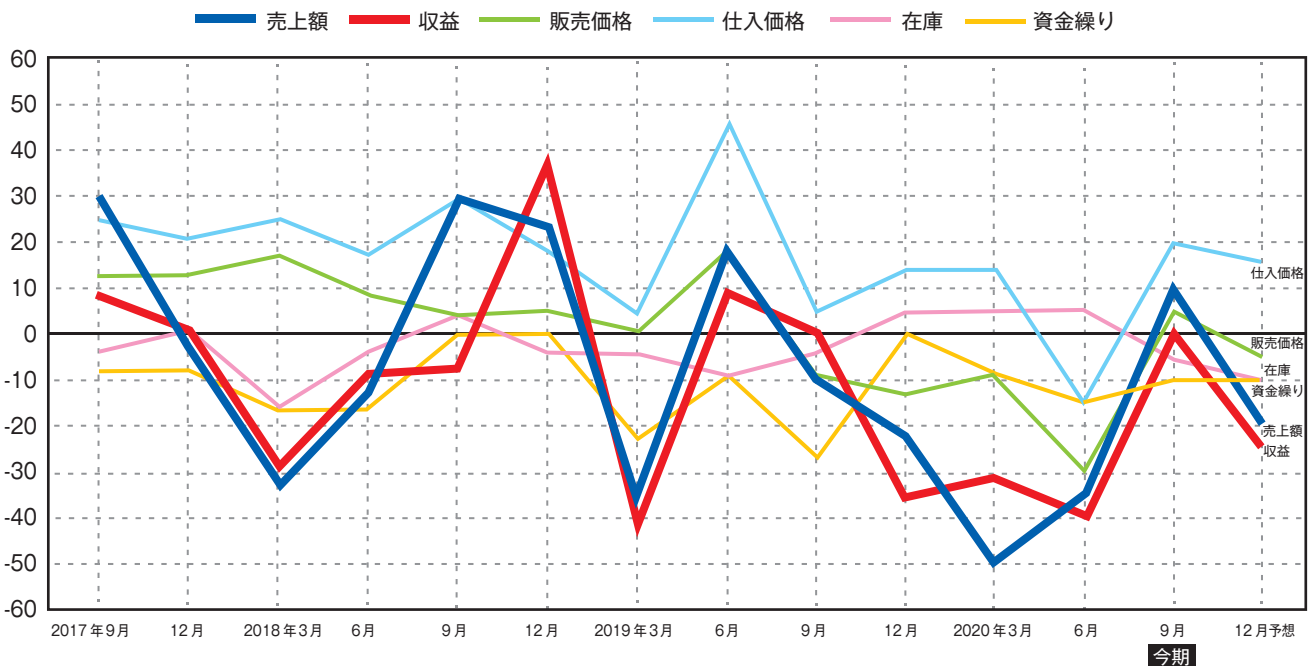
# ◆◆◆ 卸売業 20社

## 概況判断 業況は大きく改善した。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業が10.0ポイント、「**悪い**」と回答した企業は55.0ポイントで、業況DI(「**良い**」－「**悪い**」)は▲45.0となり、前期(▲75.0)に比べ30.0ポイントマイナス幅が改善しました。来期(2020年10～12月)の予想DIは▲50.0で、今期に比べマイナス幅が5.0ポイント拡大し、業況の悪化幅は強まると見通しています。

## 売上・収益・価格等の状況



前期(2020年4月～6月)に比べ、「**売上額**」「**収益**」ともに改善し水面下を脱しました。「**販売価格**」「**仕入価格**」ともに下降から上昇に転じました。

「**在庫**」については、過剰から品薄へと転じました。「**資金繰り**」についてはマイナスながら窮屈感がやや改善しました。

## 来期の見通し

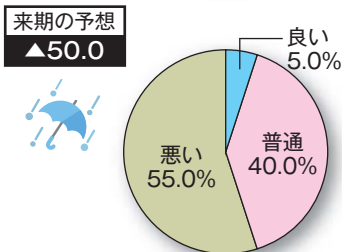
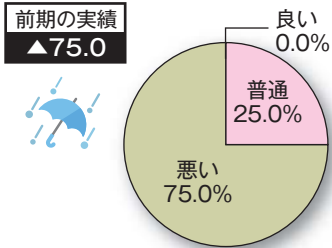
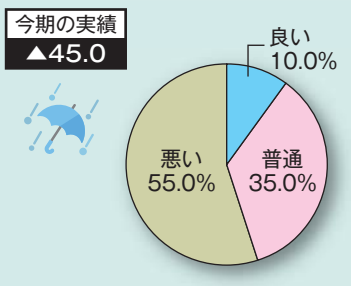
来期(2020年10月～12月)は、「**売上額**」「**収益**」ともに再び悪化し、水面下に落ち込みすると見通しています。「**販売価格**」は下降に転じるものの、「**仕入価格**」は上昇が弱まる程度になると見通しています。また、来期の「**在庫**」は、品薄感が強まり、「**資金繰り**」は窮屈感が改善されないと見通しています。



## 業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)

(%)



	今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合	▲45.0	30.0	▲75.0	▲55.0	10.0	▲50.0	▲27.3
内訳	良い	10.0	0.0	5.0		5.0	13.6
	普通	35.0	25.0	35.0		40.0	45.5
	悪い	55.0	75.0	60.0		55.0	40.9
売上額	10.0	45.0	▲35.0	0.0	10.0	▲20.0	▲9.1
収益	0.0	40.0	▲40.0	0.0	0.0	▲25.0	0.0
販売価格	5.0	35.0	▲30.0	▲15.0	20.0	▲5.0	▲9.1
仕入価格	20.0	35.0	▲15.0	5.0	15.0	15.0	4.6
在庫	▲5.0	▲10.0	5.0	0.0	▲5.0	▲10.0	▲4.5
内訳	過剰	10.0	15.0	5.0		5.0	9.1
	適正	75.0	75.0	90.0		80.0	77.3
	不足	15.0	10.0	5.0		15.0	13.6
資金繰り	▲10.0	5.0	▲15.0	▲10.0	0.0	▲10.0	▲27.3
残業時間	▲5.0	10.0	▲15.0	▲10.0	5.0	▲10.0	▲13.7
人手	▲25.0	▲20.0	▲5.0	▲15.0	▲10.0	▲20.0	▲22.7
設備投資	▲15.0	10.0	▲25.0	▲20.0	5.0	▲15.0	▲13.6
内訳	過剰	5.0	0.0	0.0		5.0	0.0
	適正	75.0	75.0	80.0		75.0	86.4
	不足	20.0	25.0	20.0		20.0	13.6

## 経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	65.0	70.0
2	同業者間の競争激化	30.0	20.0
2	利幅の縮小	25.0	20.0
2	人件費の増加	15.0	20.0
5	人手不足	10.0	15.0

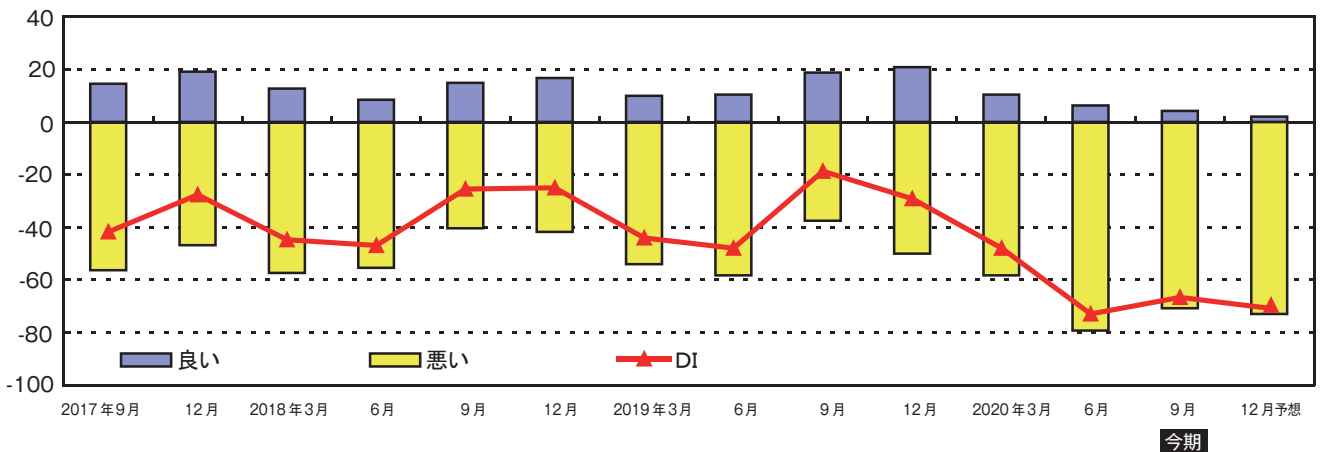
	項目	前期	今期
1	経費を節減する	60.0	50.0
2	販路を広げる	45.0	45.0
3	人材を確保する	25.0	30.0
4	情報力を強化する	45.0	20.0
5	品揃えを充実	5.0	15.0

## 調査員のコメント

- 例年、7月～9月は花火大会などの大型イベント等があり、卸売上高が増加する時期であったが、今年は、コロナウイルス感染拡大の影響を受け、イベントが軒並み中止となったことから売上高が減少した。今後も各種イベント等の中止が予想されることから売上高の減少が続くと予想している。  
(農畜産物・水産物卸売業)
- 地元スーパー等の小売店売り上げ増に比例し、青果の売上高は順調に推移した。全国各地で発生した台風水害の影響により葉物・根菜系の値上がりが続いている。当地をはじめ全国の多くの産地が被害を受けて影響を受けている中において、当面は価格の上げ下げが多く発生すると予想している。  
(農畜産物・水産物卸売業)
- コロナウイルス感染拡大の影響により、売上高の減少を予想していたが、多くの飲食業がテイクアウト販売を始めたことから、テイクアウト用容器の販売が増加し、前年同期に比べ売上高は増加した。今後の感染拡大の状況変化により、テイクアウトを実施する飲食店舗が増減することから、在庫過多に陥らないように注意深く営業していく。  
(その他卸売業)
- 新型コロナウイルス感染拡大により、飲食店、旅館・ホテル等への販売は減少したものの、海外からの豚肉輸入がストップしたことで、国内産の豚肉需要が高まり、高値での取引が続いている。スーパーや一般小売店への販売は堅調であり売り上げ増加に繋がっている。  
(農畜産物卸売業)

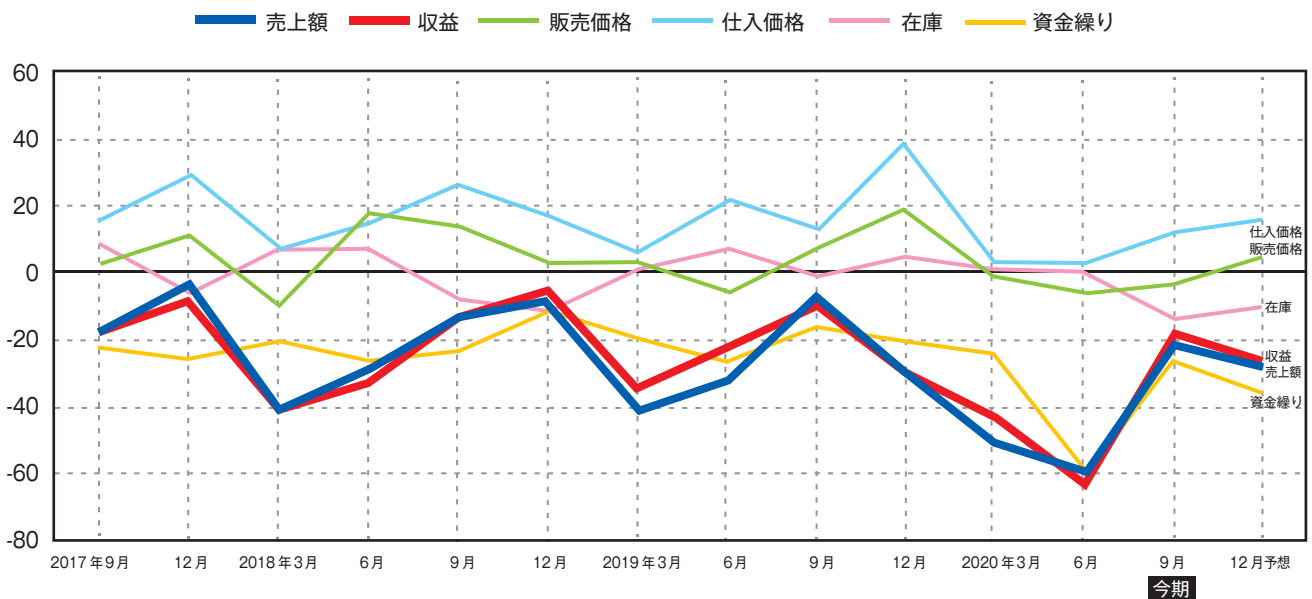
# ◆◆◆ 小売業 48社

## 概況判断 業況はやや改善するも、悪化の状況が続いている。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業が4.2ポイント、「**悪い**」と回答した企業は70.8ポイントで、業況D I（「**良い**」－「**悪い**」）は▲66.6となり、前期（▲72.9）に比べ（6.3ポイント）マイナス幅が改善しました。来期（2020年10～12月）の予想D Iは▲70.8で、今期に比べ4.2ポイント悪化し、業況は再び落ち込むと見通しています。

## 売上・収益・価格等の状況



前期（2020年4～6月）に比べ、「**売上額**」「**収益**」ともに大きく改善しました。「**販売価格**」は前期に比べ下降幅が弱まるも、「**仕入価格**」は前期に比べ上昇幅が拡大しました。

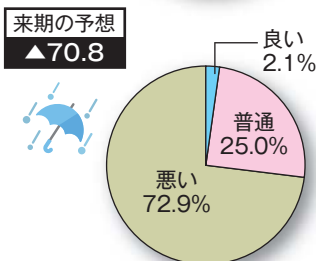
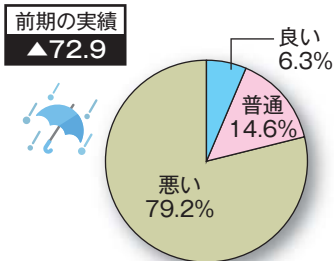
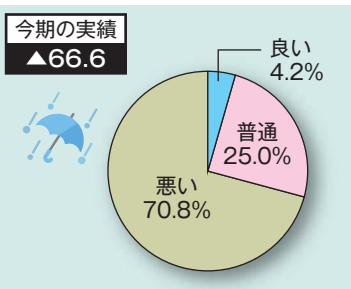
「**商品在庫**」については品薄に転じ、「**資金繰り**」の窮屈感はマイナスながら大きく改善しました。

## 来期の見通し

来期（2020年10～12月）は、「**売上額**」「**収益**」ともに下降幅が拡大すると見通しています。「**販売価格**」は上昇に転じると見通しており、「**仕入価格**」の上昇幅は拡大すると見通しています。「**商品在庫**」については、品薄感がやや弱まると予想しており、「**資金繰り**」については、窮屈感が強まると見通しています。

## 業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲66.6	6.3	▲72.9	▲72.9	6.3	▲70.8	▲18.7
内訳	良い	4.2		6.3	4.2		2.1	18.8
	普通	25.0		14.6	18.8		25.0	43.8
	悪い	70.8		79.2	77.1		72.9	37.5
売上額		▲20.8	39.6	▲60.4	▲31.2	10.4	▲29.1	▲8.3
収益		▲18.7	45.9	▲64.6	▲35.4	16.7	▲29.1	▲10.4
販売価格		▲2.1	4.2	▲6.3	▲6.3	4.2	4.1	6.2
仕入価格		10.5	8.4	2.1	8.3	2.2	12.5	12.6
在庫		▲12.5	▲12.5	0.0	0.0	▲12.5	▲10.4	▲2.1
内訳	過剰	6.3		20.9	16.7		6.3	12.5
	適正	75.0		58.3	66.7		77.1	72.9
	不足	18.8		20.9	16.7		16.7	14.6
資金繰り		▲29.2	31.2	▲60.4	▲48.0	18.8	▲35.5	▲16.7
残業時間		▲29.1	0.1	▲29.2	▲18.8	▲10.3	▲18.7	4.1
人手		▲12.5	▲6.3	▲6.2	▲4.1	▲8.4	▲18.7	▲14.6
設備投資		▲16.7	▲4.2	▲12.5	▲14.5	▲2.2	▲23.0	▲14.6
内訳	過剰	4.2		2.1	2.1		0.0	4.2
	適正	75.0		83.3	81.3		77.1	77.1
	不足	20.9		14.6	16.6		23.0	18.8

## 経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	62.5	68.8
2	利幅の縮小	25.0	27.1
3	商圈人口の減少	12.5	18.8
4	大型店との競争激化	16.7	16.7
5	同業者間の競争激化	12.5	12.5

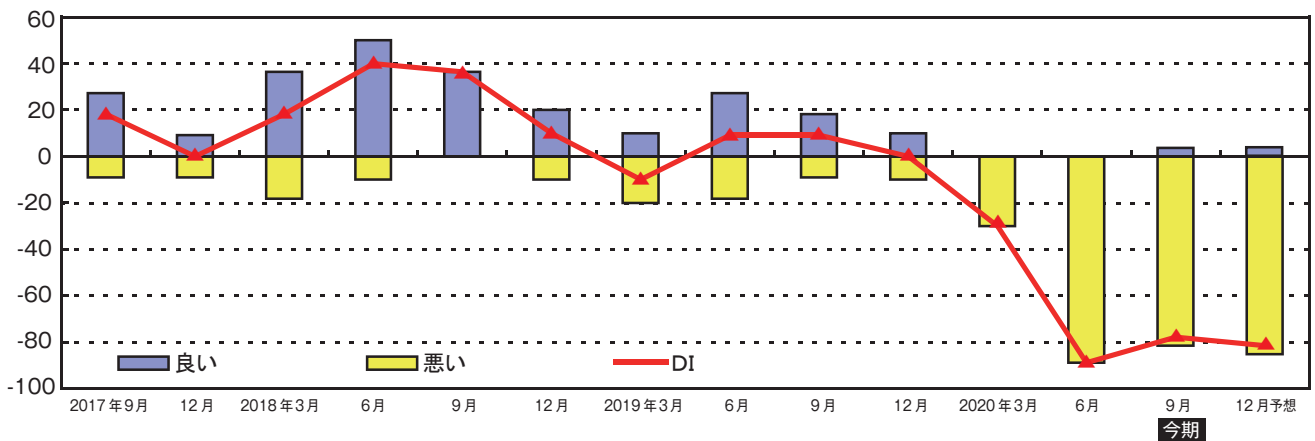
	項目	前期	今期
1	経費を節減する	50.0	50.0
2	宣伝・広告を強化する	18.8	27.1
3	売れ筋商品を取り扱う	18.8	25.0
4	品揃えを改善する	18.8	18.8
5	店舗・設備を改装する	6.3	12.5

## 調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、商品仕入れのため東京に行くことが出来ない状況にある。東京以外の決まった卸売問屋との取引が希薄であることから、新たな仕入れ先の開拓を行っている。早く東京仕入が再開できるよう期待している。(衣服・身のまわり品小売業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響があり、対前期比で売上高・収益が減少している。根強い固定客を多く保有していることから、繁忙期となるこれから徐々に売上高回復していくと見通している。来年度中には、コロナ前の水準に戻ると予想しており、機械化による効率化アップにより、人件費等の経費削減に努めていく。(その他小売業)
- 店舗での対面販売、外商による営業を主に行っていることから、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、計画通りの営業活動を行うことが出来なかった。これまで商圈としていた範囲を拡大し、新規顧客の開拓をメインに活動していく。(写真機・時計・眼鏡・貴金属小売業)
- 新型コロナウイルス感染拡大により、日用品等を中心に売上高が増加した。売上高については、当面現在の水準が続くと予想している。また、遊休不動産の所有が多く、保有資産の見直しによる資産活用と老朽化した店舗の改修等に取組みしていく予定である。(衣服・身の回り品小売業)

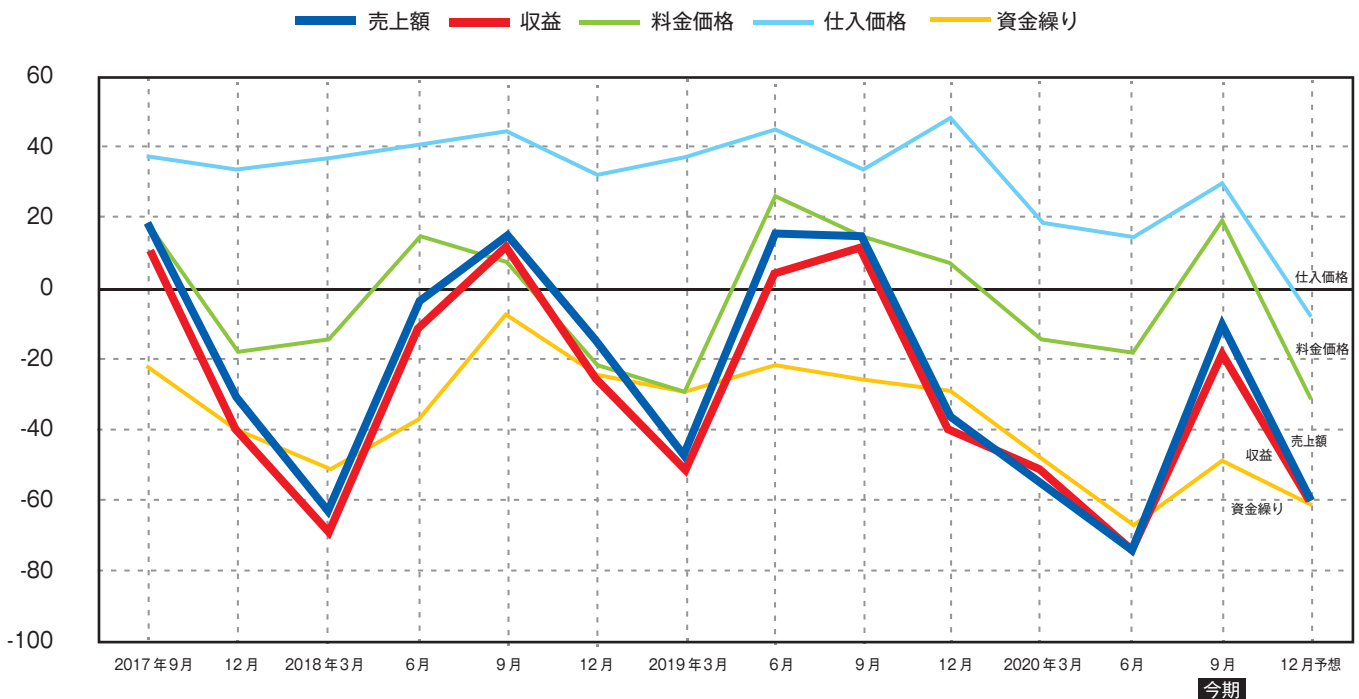
## ◆ ◆ ◆ サービス業 27社

### 概況判断 業況の悪化幅がやや改善した。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業の割合は3.7ポイント、「**悪い**」と回答した企業は81.5ポイントで、業況DI（「**良い**」－「**悪い**」）は▲77.8となり、前期（▲88.9）に比べ11.0ポイントマイナス幅が改善しました。来期（2020年10～12月）の予想DIは▲81.5で業況の悪化幅は拡大すると見通しています。

### 売上・収益・価格等の状況



前期（2020年4～6月）に比べ、「**売上額**」「**収益**」ともにマイナスながら大きく改善しました。「**料金価格**」は前期に比べ大きく改善し、下降から上昇に転じるも、「**材料価格**」の上昇幅も拡大しました。「**資金繰り**」については、前期に比べ窮屈感が弱まりましたが未だ窮屈な状況は続いています。

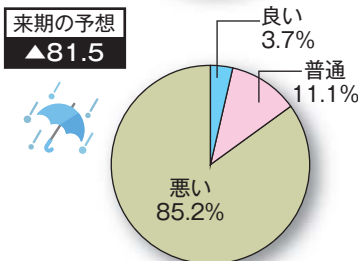
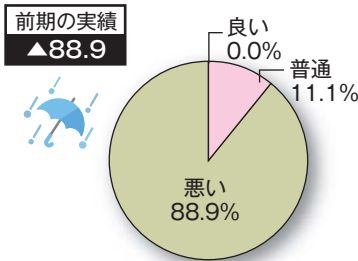
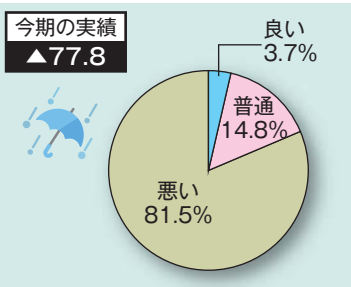
### 来期の見通し

来期（2020年10～12月）は、新型コロナウイルス感染拡大の状況により「**売上額**」「**収益**」共にマイナス幅が大きく拡大すると見通しています。価格については、「**料金価格**」「**材料価格**」共に上昇から下降に転じると見通しています。「**資金繰り**」については、今期に比べ窮屈感が更にと強まると見通しています。



## 業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲77.8	11.1	▲88.9	▲88.9	11.1	▲81.5	▲33.3
内訳	良い	3.7	/	0.0	0.0	/	3.7	11.1
	普通	14.8	/	11.1	11.1	/	11.1	44.4
	悪い	81.5	/	88.9	88.9	/	85.2	44.4
売上額		▲11.1	63.0	▲74.1	▲48.1	37.0	▲62.9	14.8
収益		▲18.5	55.6	▲74.1	▲44.4	25.9	▲62.9	11.1
料金価格		18.5	37.0	▲18.5	▲11.1	29.6	▲33.3	14.8
材料価格		29.6	14.8	14.8	7.4	22.2	▲7.4	33.3
資金繰り		▲48.1	18.5	▲66.6	▲70.3	22.2	▲62.9	▲25.9
残業時間		▲51.8	14.9	▲66.7	▲51.8	0.0	▲51.8	▲7.4
人手		▲7.4	▲14.8	7.4	▲14.8	7.4	3.7	▲51.8
設備投資		▲25.9	▲11.1	▲14.8	▲29.6	3.7	▲33.3	▲33.3
内訳	過剰	3.7	/	11.1	3.7	/	3.7	3.7
	適正	66.7	/	63.0	63.0	/	59.3	59.3
	不足	29.6	/	25.9	33.3	/	37.0	37.0

## 経営上の問題点・重点施策

順位	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	77.8	70.4
2	店舗狭小・設備の老朽化	18.5	22.2
2	その他(新型コロナウイルス)	40.7	22.2
4	人手不足	14.8	18.5
4	取引先の減少	18.5	18.5

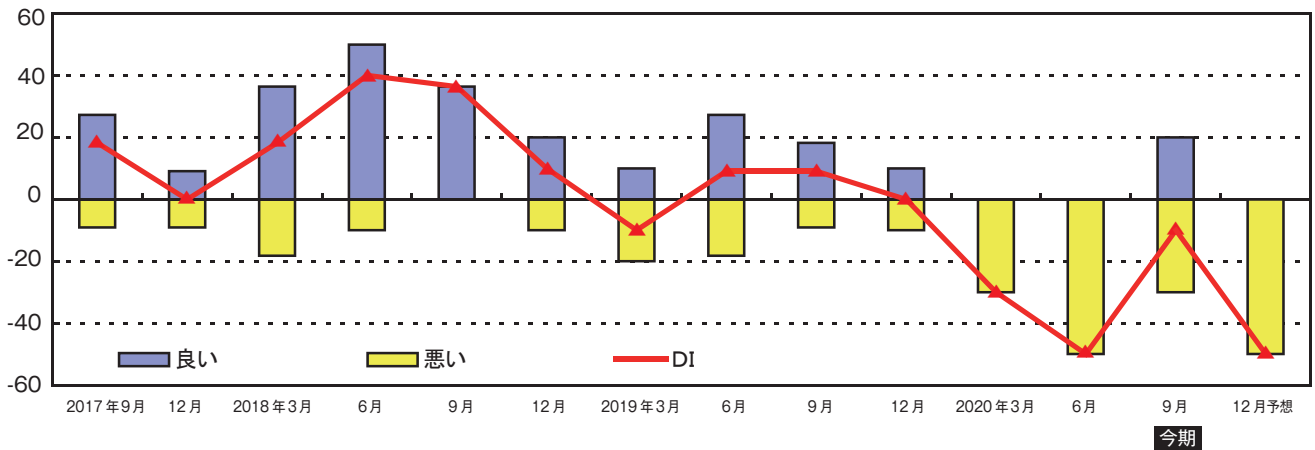
順位	項目	前期	今期
1	経費を節減する	59.3	66.7
2	販路を広げる	44.4	51.9
3	宣伝・広告を強化する	11.1	18.5
4	提携先を見つける	7.4	14.8
4	人材を確保する	3.7	14.8

## 調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大により売上高大きく減少したが、緊急事態宣言の解除後は、売上高は改善している。これから1年で最も繁忙となる時期を迎えることから、利幅の大きい受注の増加が見込まれ売上高も増加すると見通している。(自動車整備および駐車場業)
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響で個人客・団体客ともに大きく減少した。感染症防止に対応するため客数制限やマニュアルの策定などを実施した。感染防止策を実施するために相当なコストが掛かるとともに従業員に大きな負担がかかっている。GoToトラベルや地域自治体の支援策が実施され、予想以上の効果があることを実感している。(旅館、その他の宿泊所)
- 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、各種イベント・旅行・県外への外出等を控えたことからクリーニングの依頼が減少した。これまでコインランドリーや無人化店舗の設置を進めており、今後は、M&A等により販路拡大を見据えた取組を行っている。(洗濯・理容・浴場業)
- 最大の繁忙期である夏場の売上げも昨年比で約70%程度であった。GoToトラベル事業や自治体独自の支援キャンペーンもあり、情報収集を行っているが、制度設計が複雑なことから対応に苦慮している。(旅館、その他の宿泊所)

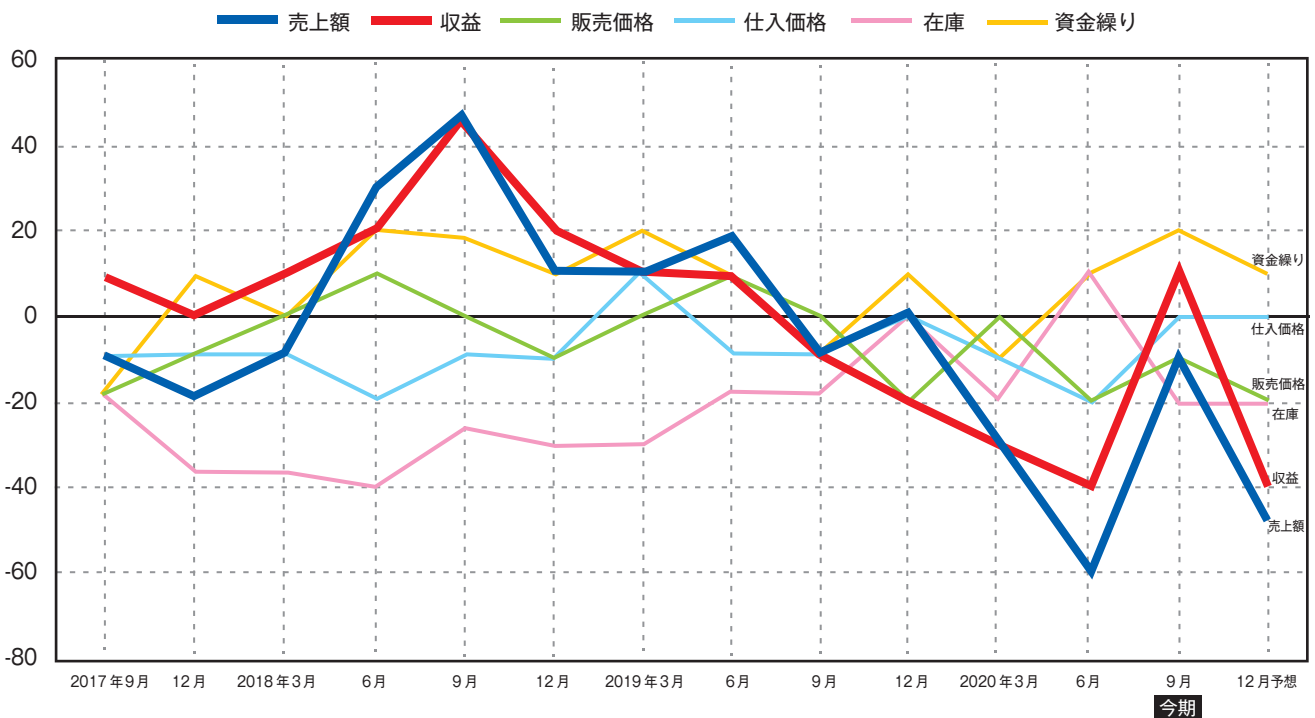
# ◆◆◆ 不動産業 10社

## 概況判断 業況は大きく改善した。



今期の業況判断は、「**良い**」と回答した企業の割合は20.0ポイント、「**悪い**」と回答した企業の割合は30.0ポイントで、業況DI(「**良い**」－「**悪い**」)は▲10.0となり、前期(▲50.0)に比べ40.0ポイントマイナス幅が改善しました。来期(2020年10～12月)の予想DIは▲50.0で、今期に比べマイナス幅が40.0ポイント拡大し、再び、業況は悪化すると見通しています。

## 売上・収益・価格等の状況



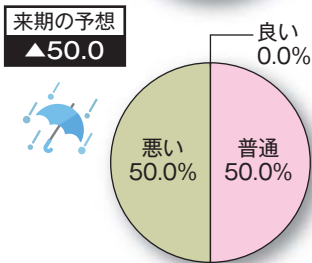
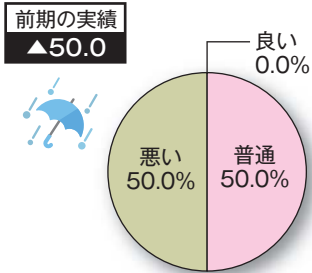
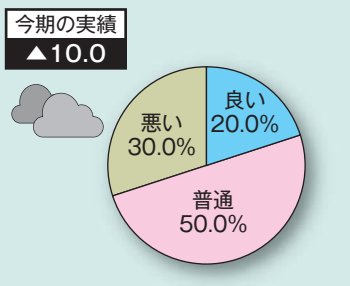
前期(2020年4～6月)に比べ、「**売上額**」はマイナスながら大きく改善し、「**収益**」は減少から増加に転じました。「**販売価格**」は下降幅が縮小し、「**仕入価格**」はマイナス値を脱しました。「**資金繰り**」については、プラス幅が上昇し、容易さが増しました。

## 来期の見通し

来期(2020年10～12月)は、「**売上額**」はマイナス幅が大きく拡大し、「**収益**」も再度水面下に落ち込みますと見通しています。「**販売価格**」の下降幅は拡大するも、「**仕入価格**」は変わらないと見通しています。「**資金繰り**」については容易さが弱まると見通しています。

## 業況判断指数(DI値)の動き

(業況判断)



		今期の実績	前期比較	前期の実績	前期時の今期見込	今期見込比較	来期の予想	前年同期実績
業況判断 総合		▲10.0	40.0	▲50.0	▲60.0	50.0	▲50.0	9.1
内訳	良い	20.0		0.0	0.0		0.0	18.2
	普通	50.0		50.0	40.0		50.0	72.7
	悪い	30.0		50.0	60.0		50.0	9.1
売上額		▲10.0	50.0	▲60.0	▲40.0	30.0	▲50.0	▲9.1
収益		10.0	50.0	▲40.0	▲50.0	60.0	▲40.0	▲9.1
販売価格		▲10.0	10.0	▲20.0	▲30.0	20.0	▲20.0	0.0
仕入価格		0.0	20.0	▲20.0	▲20.0	20.0	0.0	▲9.1
在庫		▲20.0	▲30.0	10.0	▲10.0	▲10.0	▲20.0	▲18.2
内訳	過剰	0.0		20.0	10.0		0.0	0.0
	適正	80.0		70.0	70.0		80.0	81.8
	不足	20.0		10.0	20.0		20.0	18.2
資金繰り		20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	▲9.1
残業時間		0.0	10.0	▲10.0	▲10.0	10.0	▲10.0	0.0
人手		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	▲10.0	▲9.1

## 経営上の問題点・重点施策

	項目	前期	今期
1	売上の停滞・減少	60.0	40.0
1	同業者の競争激化	30.0	40.0
3	商品物件の不足	30.0	30.0
4	利幅の減少	30.0	20.0
5	人手不足	0.0	10.0

	項目	前期	今期
1	宣伝・広告を強化する	30.0	50.0
1	情報力を強化する	60.0	50.0
3	販路を広げる	50.0	40.0
4	経費を節減する	30.0	30.0
5	提携先を見つける	10.0	10.0

## 調査員のコメント

- 新型コロナウイルス感染拡大による影響も軽微であり、前年と同程度の業況にて推移している。感染拡大の終息には相当の期間を要すると考えており、日本経済全体が冷え込むことで自社の業況にも影響が出るのではないかと警戒している。  
(貸事務所・土地売買業)
- 新型コロナウイルス感染拡大により、県外からの転入者が極めて少ない状況であり、賃貸部門の売上が昨年に比べ減少している。当面の間、売上高の減少は続く予想しており、経費の削減に力を入れていく。  
(不動産代理業・仲介業)
- 今期の業況について、新型コロナウイルス感染拡大による影響は無い。但し、このような状況の中で、今後も営業を拡大するにあたり、オンライン商談などの導入は有効な手法であると考えており、自社でも検討したいと考えている。  
(建売業・土地売買業)

## 大型小売店の売上状況

(単位:百万円・%)

	山形県		東北	
	金額	前年同月比増減率	金額	前年同月比増減率
2019/6	12,018	1.3	98,671	0.1
7	11,854	△4.7	100,286	△4.9
8	13,202	1.2	106,376	0.8
9	12,191	4.1	101,103	4.8
10	11,346	△3.4	92,857	△5.7
11	11,375	△0.4	98,565	△0.7
12	14,383	△2.9	123,704	△3.1
2020/1	11,773	△3.6	101,453	△2.1
2	10,619	△1.4	93,314	2.9
3	11,681	△6.2	108,982	△4.6
4	11,021	△6.4	99,387	△6.2
5	12,067	△1.3	106,570	△1.8
6	11,629	△3.2	109,382	1.1
7	11,415	△3.7	110,122	0.2

資料：東北経済産業局

(注)イ対象店舗数に変動があるため前年比は同一店舗比較  
ロ売上高には消費税含む

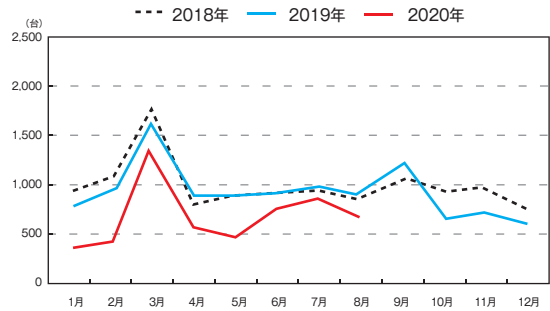
## 自動車の販売状況 新車販売(登録・届出)台数の推移

(単位:台・%)

	庄内地区						山形県					
	乗用		軽四輪		合計		乗用		軽四輪		合計	
	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率	台数	前年同月比増減率
2019/6	435	△17.5	477	22.6	912	△0.4	2,267	△7.4	2,041	3.6	4,308	△2.5
7	517	7.3	465	1.5	982	4.4	2,808	4.2	1,784	△2.7	4,592	11.6
8	413	6.7	393	3.4	806	5.0	2,373	△0.9	1,613	7.1	3,986	12.7
9	550	2.4	628	27.1	1,178	14.2	2,784	5.3	2,415	18.0	5,199	10.8
10	326	△29.1	358	△21.3	684	△25.2	1,586	△29.1	1,417	△26.0	3,003	△27.6
11	362	△23.9	375	△24.1	737	△24.0	1,819	△23.9	1,615	△20.2	3,434	△22.1
12	330	△7.3	304	△19.4	634	△13.5	1,798	△11.2	1,268	△17.2	3,066	△10.7
2020/1	307	△18.8	426	△6.2	733	△4.5	1,531	△19.6	1,376	△19.2	2,907	△19.4
2	430	△16.8	323	△17.2	753	△22.4	1,985	△16.5	1,755	△17.3	3,740	△16.8
3	678	△19.8	660	△14.8	1,338	△17.0	3,361	△17.6	2,741	△14.5	6,102	△16.2
4	311	△18.6	246	△45.3	557	△33.0	1,514	△24.3	1,028	△36.7	2,542	△31.2
5	279	△34.5	199	△51.6	478	△42.8	1,283	△38.5	864	△51.1	2,147	△44.3
6	349	△19.8	427	△10.5	776	△14.9	1,680	△25.9	1,706	△16.4	3,386	△21.4
7	404	△21.9	438	△5.8	842	△14.3	1,968	△17.8	1,776	△0.4	3,744	△18.4
8	323	△21.8	341	△13.2	664	△17.6	1,625	△18.3	1,477	△8.4	3,102	△21.1

資料：庄内自動車検査登録事務所

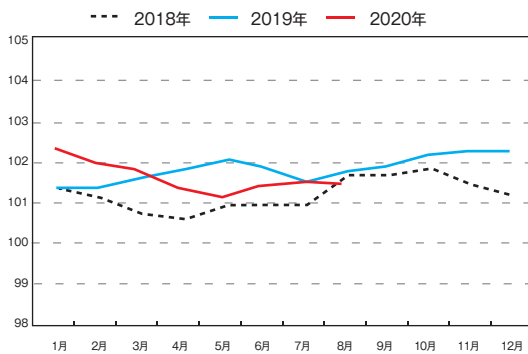
### 庄内地区新車販売(登録・届出)台数



## 消費者物価指数の推移

	山形県			全国		
	指数	対前月比上昇率	対前年同月比上昇率	指数	対前月比上昇率	対前年同月比上昇率
2019/6	101.9	△0.2	0.8	101.6	△0.1	0.7
7	101.6	△0.3	0.5	101.6	△0.1	0.5
8	101.8	0.2	0.1	101.8	0.3	0.3
9	101.9	0.1	0.2	101.9	0.1	0.2
10	102.2	0.2	0.3	102.2	0.3	0.2
11	102.3	0.1	0.7	102.3	0.1	0.5
12	102.3	0.0	1.0	102.3	0.0	0.8
2020/1	102.4	0.1	0.9	102.2	△0.1	0.7
2	102.0	△0.4	0.5	102.0	△0.2	0.4
3	101.8	△0.2	0.1	101.9	0.0	0.4
4	101.4	△0.4	△0.5	101.9	△0.1	0.1
5	101.2	△0.2	△0.9	101.8	0.0	0.1
6	101.4	0.3	△0.5	101.7	△0.1	0.1
7	101.6	0.2	0.0	101.9	0.1	0.3
8	101.5	0.0	△0.3	102.0	0.2	0.2

### 消費者物価指数(山形県)



(指数:2015年)

2016年7月分から、指数の基準時参照年次が2015年に変更になりました。  
※2009年3月分まで山形県各市の消費者物価指数の公表が終了し、公表が山形市のみとなったため、2009年4月より、山形市のデータをもって山形県とする。

資料:総務省統計局消費統計課物価統計室

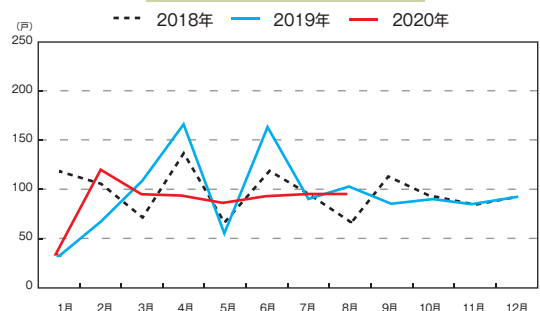
## 新設住宅着工戸数

(単位:戸・%)

	鶴岡市		酒田市		庄内地区		山形県	
	着工戸数	前年同月比増減率	着工戸数	前年同月比増減率	着工戸数	前年同月比増減率	着工戸数	前年同月比増減率
2019/7	34	△29.1	53	60.6	89	△6.3	457	△2.5
8	69	109.0	32	28.0	102	△47.8	503	△1.9
9	37	△15.9	32	△38.4	76	△36.6	533	△4.1
10	43	10.2	31	△29.5	83	△9.7	368	△31.9
11	46	9.5	20	△0.2	79	1.2	480	△2.6
12	39	21.8	49	11.3	90	1.1	443	△35.6
2020/1	24	26.3	10	11.1	36	12.5	220	△1.3
2	60	114.2	51	96.1	121	86.1	425	11.8
3	51	△8.9	33	△17.5	96	△10.2	414	△19.4
4	59	7.2	28	△71.4	91	△44.1	543	7.5
5	37	68.1	31	72.2	84	58.4	367	△33.8
6	44	△27.8	33	△64.1	94	△41.9	456	△42.5
7	56	64.7	31	△41.5	97	8.9	456	△0.2
8	50	△27.5	36	12.5	97	△4.9	540	7.3

資料：山形県土木部建築住宅課

### 新設住宅着工戸数(庄内地区)





求人・求職者の動き

(単位:人・%)

鶴岡	新規求人		新規求職申込み件数		月間有効求人数		月間有効求職者数	
	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率
2019/7	1,178	△12.0	563	10.8	3,036	△18.1	1,988	8.6
8	1,004	△16.5	423	△16.1	3,001	△17.5	1,842	0.9
9	1,131	△13.7	517	8.4	3,048	△15.6	1,898	5.2
10	1,073	△16.6	580	5.3	2,984	△16.0	1,959	5.0
11	939	△13.8	456	△6.7	2,959	△14.6	1,932	8.0
12	1,031	△5.1	438	15.6	2,832	△11.3	1,810	9.6
2019/1	1,072	△17.9	574	9.1	2,876	△11.5	1,863	11.6
2	1,027	△15.8	506	△14.5	2,921	△14.2	1,870	3.3
3	1,144	△2.9	633	5.1	3,007	△10.3	2,040	3.2
4	929	△23.3	678	△6.5	2,723	△16.3	2,037	△3.1
5	689	△32.0	472	△18.3	2,364	△21.4	2,009	△3.2
6	1,021	△6.5	550	16.8	2,436	△18.9	2,030	1.8
7	859	△27.1	471	△16.3	2,324	△23.5	1,956	△1.6
8	816	△18.7	453	7.1	2,399	△20.1	1,943	5.5

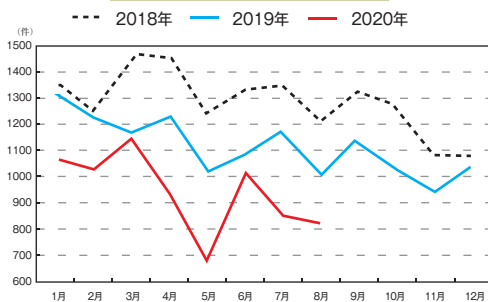
資料:ハローワーク鶴岡

(単位:人・%)

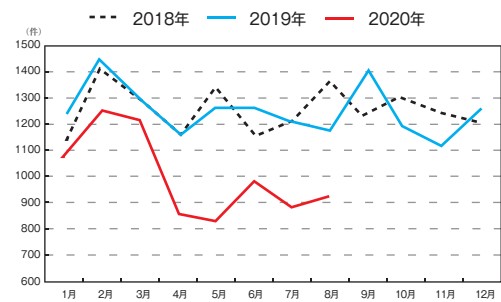
酒田	新規求人		新規求職申込み件数		月間有効求人数		月間有効求職者数	
	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率	人数	前月同月比較 増減率
2019/7	1,204	△0.3	631	11.9	3,361	△0.6	2,251	7.0
8	1,182	△13.2	512	△4.5	3,338	△4.5	2,173	8.5
9	1,400	14.3	547	1.9	3,556	1.1	2,178	9.8
10	1,193	△8.3	637	3.7	3,435	△4.8	2,183	7.5
11	1,106	△10.8	509	3.0	3,420	△3.5	2,138	9.2
12	1,261	4.5	477	7.9	3,307	△3.6	2,020	8.3
2020/1	1,080	△12.4	637	△0.5	3,158	△8.7	2,012	4.8
2	1,256	△13.0	548	△14.2	3,349	△8.8	2,042	△1.3
3	1,209	△6.6	563	△20.5	3,205	△12.4	2,100	△8.2
4	859	△25.5	705	△5.7	2,897	△16.2	2,156	△7.2
5	815	△35.5	520	△7.5	2,310	△31.4	2,165	△4.7
6	982	△22.2	549	△2.1	2,361	△30.1	2,187	△0.0
7	898	△25.4	521	△17.4	2,488	△26.0	2,189	△2.8
8	918	△22.3	451	△11.9	2,541	△23.9	2,135	△1.7

資料:ハローワーク酒田

新規求人数(鶴岡)



新規求人数(酒田)



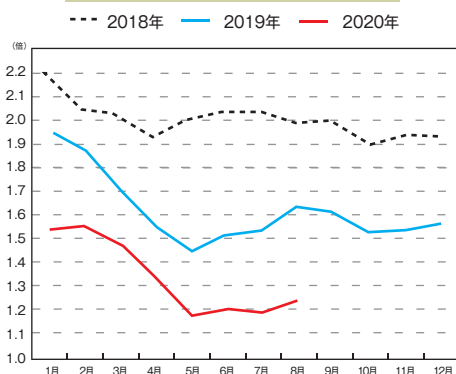
月間有効求人倍率の推移(鶴岡・酒田)

(単位:倍)

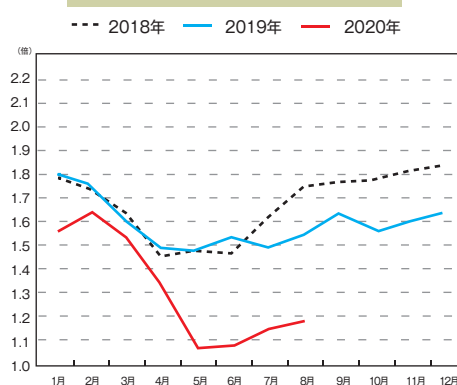
	鶴岡						酒田					
	2018年度		2019年度		2020年度		2018年度		2019年度		2020年度	
	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比	倍率	対前年 同月比
4月	1.93	0.38	1.55	△0.38	1.34	△0.21	1.46	△0.05	1.49	0.03	1.34	△0.15
5月	2.00	0.35	1.45	△0.55	1.18	△0.27	1.48	△0.10	1.48	0.00	1.07	△0.41
6月	2.03	0.26	1.51	△0.52	1.20	△0.31	1.47	△0.12	1.54	0.07	1.08	△0.46
7月	2.03	0.21	1.53	△0.50	1.19	△0.34	1.61	0.02	1.49	△0.12	1.14	△0.35
8月	1.99	0.13	1.63	△0.36	1.23	△0.40	1.75	0.12	1.54	△0.21	1.19	△0.35
9月	2.00	0.07	1.61	△0.39			1.77	0.08	1.63	△0.14		
10月	1.90	0.00	1.52	△0.38			1.78	0.09	1.57	△0.21		
11月	1.94	△0.11	1.53	△0.41			1.81	0.04	1.60	△0.21		
12月	1.93	△0.18	1.56	△0.37			1.84	0.08	1.64	△0.20		
1月	1.95	△0.25	1.54	△0.41			1.80	0.08	1.57	△0.23		
2月	1.88	△0.16	1.56	△0.32			1.77	0.03	1.64	△0.13		
3月	1.70	△0.33	1.47	△0.23			1.60	△0.03	1.53	△0.07		

(パートを含む常用)  
資料:  
ハローワーク鶴岡・酒田

月間有効求人倍率(鶴岡)



月間有効求人倍率(酒田)



## 特別調査「新型コロナウイルスの感染拡大を受けた中小企業への対応について」

問1.  
貴社では、売上高がコロナ前の水準に回復する時期を、いつごろと見込んでいますか。

	(%)						
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 現状でコロナ前に到達・上回っている	8.3	6.1	19.4	5.0	4.2	0.0	30.0
2. 2020 年中	3.0	0.0	0.0	10.0	0.0	7.4	10.0
3. 2021 年中	16.6	21.2	6.5	10.0	18.8	22.2	20.0
4. 2022 年中	15.4	18.2	12.9	5.0	14.6	25.9	10.0
5. 2023 年以降	12.4	21.2	19.4	10.0	10.4	0.0	10.0
6. 戻ることはない	7.7	9.1	0.0	10.0	12.5	7.4	0.0
7. わからない	36.7	24.2	41.9	50.0	39.6	37.0	20.0

問2.  
貴社では、テレワークや在宅勤務、リモートワークといった、出社を必要としない就労形態を実施（予定を含む）していますか。実施している方は1～3、実施していない方はその理由について4～0の中からお答えください。

	(%)						
■実施した（予定を含む）	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. コロナウイルス感染症拡大前から実施済み	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0
2. コロナウイルスをきっかけに実施した	1.8	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
3. これから実施する予定	1.2	3.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
■実施していない							
4. 実施できる業務ではない	87.0	90.9	96.8	95.0	81.3	88.9	50.0
5. 実施コストがかかる	1.2	3.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
6. セキュリティ面で不安	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
7. 従業員を管理できない	0.6	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
8. IT に知見を持つ人材が少ない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
9. 従業員が少ない（家庭経営等）	5.9	0.0	0.0	5.0	12.5	7.4	10.0
0. その他	1.8	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	20.0

問3.  
貴社では、今現在、雇用ならびに1人当たり支給額（給与、手当、賞与等）に関する方針について、どのようにお考え（予定を含む）ですか。正規社員は1～5の中から、非正規社員（パート、アルバイト、派遣社員等）は6～0の中からそれぞれお答えください。

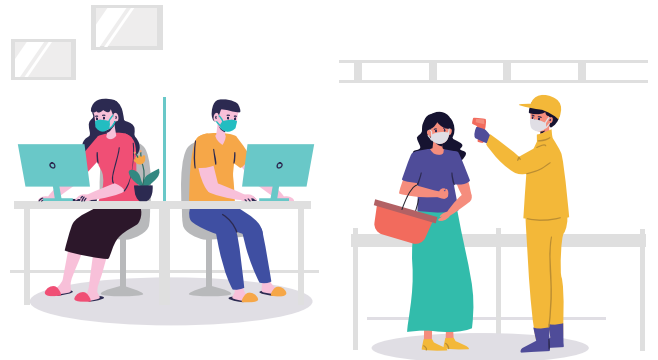
	(%)						
■正規従業員	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 雇用、支給額とも維持・増加する	62.7	57.6	80.6	70.0	52.1	66.7	50.0
2. 雇用は維持・増加するが支給額を減らす	12.4	24.2	9.7	10.0	10.4	7.4	10.0
3. 雇用を減らし、支給額は維持・増加する	3.0	9.1	3.2	0.0	0.0	3.7	0.0
4. 雇用、支給額ともに減らす	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0
5. 該当者はいない	21.3	9.1	6.5	20.0	37.5	22.2	30.0
■非正規従業員							
6. 雇用、支給額とも維持・増加する	33.7	39.4	22.6	50.0	31.3	33.3	30.0
7. 雇用は維持・増加するが支給額を減らす	8.3	12.1	3.2	5.0	8.3	11.1	10.0
8. 雇用を減らし、支給額は維持・増加する	4.1	6.1	3.2	0.0	2.1	11.1	0.0
9. 雇用、支給額ともに減らす	2.4	0.0	0.0	10.0	0.0	7.4	0.0
0. 該当者はいない	51.5	42.4	71.0	35.0	58.3	37.0	60.0

問4.  
貴社では、今現在、今後の事業の見直しについて、実施・検討していることはありますか。実施・検討している方は、1～9の中から最大3つまで選んでお答えください。

	(%)						
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 調達先・調達方法（多様化・分散など）	12.1	18.4	6.7	17.2	13.0	7.1	7.1
2. 勤務時間、勤務方法	13.7	14.3	13.3	10.3	13.0	19.0	7.1
3. 職場環境（3密防止など）	17.7	20.4	17.8	20.7	11.6	23.8	14.3
4. 委託先・外注先選定の見直し	6.0	4.1	8.9	0.0	8.7	4.8	7.1
5. 事業継続計画（BCP）の整備・見直し	9.7	4.1	15.6	6.9	10.1	9.5	14.3
6. 生産・販売拠点の見直し	4.8	10.2	2.2	10.3	4.3	0.0	0.0
7. 事業全体（事業転換など）	5.2	6.1	2.2	6.9	4.3	9.5	0.0
8. 事業譲渡・廃業	2.4	2.0	0.0	3.4	2.9	4.8	0.0
9. その他	1.6	0.0	0.0	0.0	2.9	4.8	0.0
0. 実施・検討していない	26.6	20.4	33.3	24.1	29.0	16.7	50.0

問5.  
貴社では、今現在、営業拡大の観点で実施・検討していることはありますか。実施・検討している方は、1～9の中から最大3つまでお答えください。

	(%)						
	全業種	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1. 営業方法の模索（オンライン商談など）	16.4	11.1	11.5	13.3	9.5	4.9	10.0
2. 販売チャネルの模索（配達など）	8.2	5.6	5.8	13.3	2.4	4.9	0.0
3. 新しい顧客の開拓	31.0	24.1	23.1	13.3	19.0	12.2	15.0
4. 広告宣伝方法の模索（SNS活用など）	19.3	3.7	3.8	20.0	15.5	12.2	25.0
5. 新商品・サービスの開発	17.0	16.7	3.8	10.0	9.5	14.6	5.0
6. 既存顧客に対するサポートの徹底	22.2	5.6	19.2	6.7	16.7	17.1	10.0
7. 生産・販売拠点の拡充	5.3	5.6	0.0	3.3	3.6	2.4	5.0
8. 同業者・外部支援機関等との連携強化	16.4	7.4	15.4	20.0	6.0	7.3	10.0
9. その他	0.6	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
0. 実施・検討していない	28.1	20.4	17.3	0.0	16.7	24.4	20.0



第185回

## 中小企業の景気動向

発行所 鶴岡信用金庫  
郵便番号 997-0035  
山形県鶴岡市馬場町1番14号  
電話 0235-22-2360(代表)  
担当部 総合企画部  
電話 0235-22-2680(直通)  
ホームページ <https://www.tsuruoka-sk.jp/>

2020年10月発行